

キッズみんなの日記

11月号

秋の深まりを感じる季節になりました。空気が澄んで、空が高く、木々が色づいて、美しい景色が広がります。休日はドライブに出かけ、紅葉を楽しむのも良いですね。きつこ心まで澄んでいくことでしょう。

秋は収穫の季節でもありますよね。さつまいもや栗、柿やかぼちゃなど、おいしい果物や野菜がたくさんあります。私は秋の味覚を楽しむのが大好きです。特に、さつまいもや栗で作ったスイーツは絶品です。みなさんはどんな秋の味覚が好きですか？

また、秋は読書も良いですよ。本は知識や感性を磨くことができますよ。自分の世界を広げるためにもこの機会に読書を始めるのも良いと思います。

さて、今月の「みんなの日記」ですが、キッズ生達は日常のふとした「コマ」を書いてくれています。彼らの日記を読んで、みなさんも自分の日常に目を向けてみませんか？学校での出来事や友達とのこと、家族で出かけたことなど、どんなことでも日記になります。キッズ生たちの日記は個性や感性に満ち溢れています。日常の中に隠された魅力を見つけて、是非日記に書いてください。待っていますよ。それでは「みんなの日記」を楽しんでください！

優秀作品紹介

★日常の「コマ」を生き生きと★

たのしかったおまつり

十二じはんぐらいにいえをでて、おねえ



ちゃんのおさななじみのママとごうりゆうして、いっしょにおまつりにいきました。かきごおりを食べて、おかしパーポールすくいをして、ヨーヨーつりをして、スーをたべました。つきもまたおまつりにいきたいです。



(小一 NMさん)

日記の基本である「いつどこで・誰が」をしっかり書いてくれましたね！また、何をしたかもたくさん書いてくれました。楽しそうな様子が目に浮かびますよ！

むずかしい

きのうは、学校からかえると自てん車にのるれんしゅうをしました。なせなら学校で十月二十七日にユーカリ交う公園というところで、自てん車をのるからです。といったことはありますが、その時ものれませんでした。そろそろのれるようになります。



(小二 SSさん)

自てん車からおりようとしたらズボンがひっかかって足が石のゆかにおちてあざができました。とてもいたかったです。



「なぜなら」を上手に使用して自てん車に乗りた理由を説明できていますよ！石の床に落ちてしまったのは災難ですが、自てん車に乗れるようになっていくことを祈っています！

ママと五じからのさんぽ

おとといぼくがママに「あしたいっしょにさんぽにいこう、五じからいこう。」と言いました。つぎの日ぼくが五じにおきてしまいました。ママをおこしてさんぽにいきました。



(小二 KMくん)

結びの一文がほのぼのしますね。その情景を想像すると自然と笑みがこぼれます。親子の「コマ」だからこそ、こういった雰囲気になるんですね。素晴らしいですよ！

いろいろな音

わたしは、学校からかえるとき、いろいろな音をききました。ジャリ、ピーピー、キーン、うちの音、じどうはんばいきなど、それぞれの音をきいて、音でふしぎだしおもしろいなと思います。



(小二 SRさん)

音を表す「擬音語」を上手に使用して不思議に感じたことをストレートに表現していますね！日々の些細な出来事を不思議に思うことは素晴らしいですよ！

★自分の思いを伝える★

長生き

わたしの家に、ハムスターをかっています。そのハムスターは、とても長生きしていてもうすぐかかってから四年たつところです。最近毛がぬけてきていますがとても元気です。



二〇二三年も生きて二〇二四年を、ハムスターと迎えたいです。

(小三 UHさん)

ハムスターの特徴を上手に表現していますよ！Hさんの優しさが使わってくる温かい文章ですね！これからもハムスターを大事にしてくださいね！

理科のかけのあそび

今日、理科でかけで遊びました。動物を作ったり、ほしなどの形を作ったりしました。クラスで円をお作って、ぼくのクラスが一番下手といわれてくやしかったです。



(小三 ISさん)

理科の実験の内容を詳しく書いてくれましたね！いくつかの物事も「たり」を使って繋いでいるところも良いですよ！次回は悔しい思いをしないように頑張ってくださいね！

ゼミナールの速読

今日は製香台ゼミナールのタブレットで速読をしました。いつも通りフルオートをやって、よむはやさははかりました。フルオート二〇分がおわったら、キャラをかい、ほかの人とたいせんしました。全国十位の人とたたかってみたら負けただけ、きょうしつからさがした人にはかきました。速読楽しかったです。



(小四 MMくん)

速読を一生懸命頑張っている様子がよくわかる日記ですね！全国十位は強敵だったようですが、頑張ればその子より早く読めるようになりたいですよ！応援しています！

母のきもち

ぼくは母さんの手伝いをしているとあることにききました。それは、母のきもちです。なんでかって、それは、ごはんや、せんたく、あらいものとはほすべての家事をしているからです。



ぼくはその母さんの気持ちがあすこしわかりました。理由はだれにもやれといわれてないのに一人でぼくがゲームをしている中料理をしているからです。ぼくは手伝いだっておこずかいをもらっているけど母さんはなにももらわずにやっているからです。しかも父さんはケータイをみているからたまにしか家事をしないので手伝いもしていません。すこしイラッきます。手伝いをしてみていつものようにやっているけどたいへんなのがわかりました。



お母さんはいつもみんなのために頑張ってくれています。それがわかったS君は一つ成長したのではないのでしょうか。これからもお母さんのお手伝いをしてあげてね！

(小四 YSくん)

弟のお宮参り

十月七日におばあちゃん、家族で、いっしょに弟のお宮参りへ、いきました。じんじや、一度、れいをして、入るそうです。弟のお宮参りは、すぐにきました。



よばれて、中に入ると、刀や、お面がありました。そのおくへぼくたちは、いきました。おくへやへ行って、イスにすわりました。きりつしてたつと、たいこの音が大きくなって、びっ

くりしたけれど、もつとびっくりしたのは、

その音に赤ちゃんたちが泣かなかったからです。お宮参りが終わったら、おすし屋(かまど)へ、いきました。そのついでにロイヤルホームセンターへ行って、帰りました。

お宮参りの様子を詳しく説明してくれましたねーびっくりした気持ちの表現も良いですよ！それにしても赤ちゃんは肝が据わっていませんねー先生もびっくりです。



(小四 KSくん)

出来事や気持ちを

よりの細やかに伝える

アリのかんさつ

私は今日アリの巣を見つきました。いつも通りふみつぶそうと思いましたが、やめておきました。なぜなら、ぎょう列ができていたからです。その列をたどってみると、草をくわえているアリがたくさんいました。私はおどろきました。なぜならアリは草を食べないと思ったからです。なので私は巣を作るのに必要なかなと思いました。理由は自分で自分と同じくらい大きなものをいつもくわえているアリはすごいと感じました。



凄いと感じたことの原因をしっかりと書いてるのが良いですねー日常のふとした出来事に関心を持つことは大切です。これからも心のアンテナを張り続けてくださいね！

(小五 MMさん)

少し残念

今日は、学校の給食で私の好きなものがたくさんありました。特に好きなのが、あ

げばんとグミです。

あげばんは、きなこ味で、こぼれないように食べるのが大変でしたが、やっぱり大好きです。そして、グミは、だん力がすこくあり、おいしかったです。けれど、今はきょうせいの器具をつけていて、かむときはすこく痛かったので、こんどはゆっくり食べたいと思いました。



(小六 TAさん)

「どんな」の部分をしっかり書くことにより読み手がわかりやすくなります。そしてそれがちゃんとできています！また、「けれど」の使い方も上手です！素晴らしいですよー私も揚げパンやグミが食べたくなりました。

楽しかったお祭り

私は日よう日に友達とお祭りに行つて、あんずあめやきそばを食べました。あんずあめは、パイナップルが入っていて美味しかったです。その他にも友達とおそろいのイヤリングを買ったり、おそろいのキヤラクターのヨーヨーなどを買ったり、おみくじをしたりしました。



おみくじは、自分のほしかった物は、でませんでした。もう一回おみくじをやったら、ほしいものがでたのでうれしかったです。そして、来年もまた友達とお祭りに行きたいと思いました。

(小六 UHさん)

楽しそうなお祭りの様子が目に浮かぶような日記ですねーきつとエさんの一生の思い出となったことでしょうか。来年もきつと行けますよーお友達を大切にしてくださいねー

速読がのびない速読をやっている時、さいげんと言うのがむずかしいです。なぜかと言うと一秒ほどでさいげんする部分消えるので、とても難しいです。では、なぜさいげんが難しいのか、いくつかまとめてみました。



①見る秒数が短いと、大体一秒で消えてしまうこと。②同じ色のフルーツなどがあること、これによりわかりにくくなります。そして最後の③あたり判定です。お皿においているのに置かれてないときがありタイムロス、忘れるなどの原因があります。これからはもっと出来るようになるためにがんばる。

(小六 THくん)

わかりやすい文章にするために①②③と数字を使うという工夫をしていますねーこの日記は読み手が必ずするものですので、それを意識しなければなりません。この工夫はその意識を持っている証拠ですよー素晴らしいですよー

「キッズみんなの日記」に関するご意見・ご感想は、info@kondai.comまたは、編集担当藤田ふじた@kondai.comまで、ご連絡ください。皆様のご意見を参考に、より良い紙面作りに努めて参ります。